平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Ⅰ コート　第3試合　　本庄総合公園体育館 (シルクドーム)

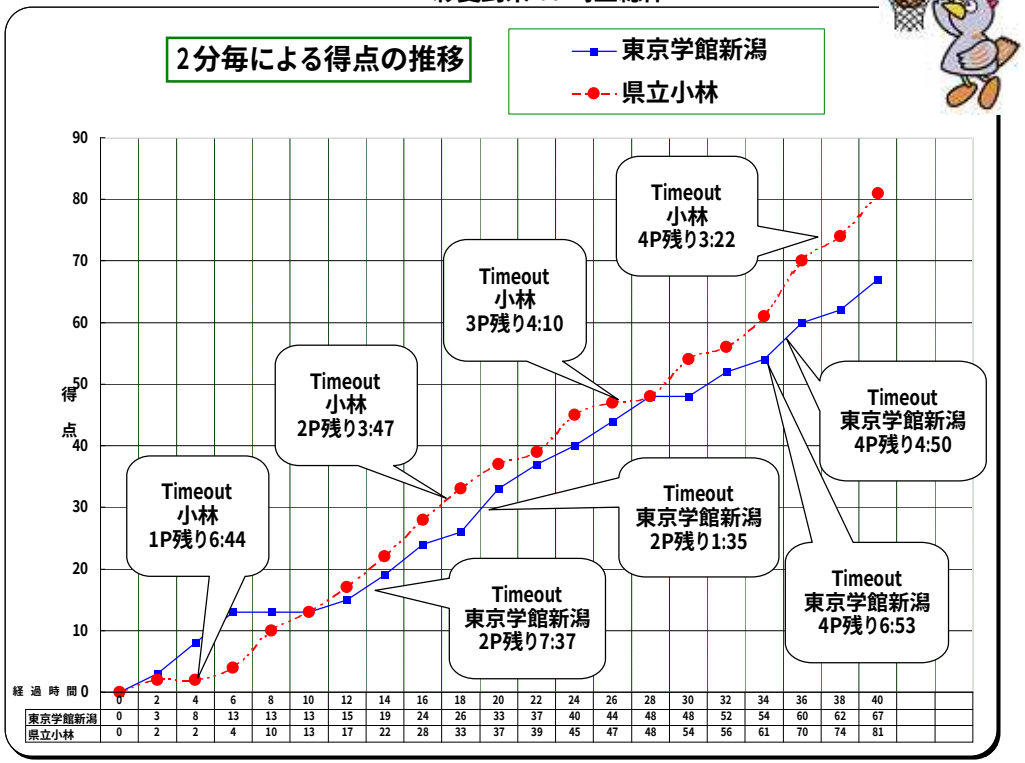
チームA			チームB
東京学館新潟 新 潟	67	13 － 13 20 － 24 15 － 17 19 － 27 －	81	県立小林 宮 崎

東京学館新潟

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	金子 智美	／	4	0	1	2	4	0	0	4	0	0	1	1	0	0	19
5	齋藤 かほ	X	3	1	1	0	0	0	0	3	0	2	1	0	1	0	20
6	赤川 愛	X	18	1	2	5	11	5	6	4	7	6	5	2	4	0	40
7	石井 郁子	／	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
8	岩本 江里子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	堀川 美咲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	花沢 夏実	X	24	2	2	8	13	2	2	2	3	4	4	1	2	0	40
11	宮原 綾	X	16	4	11	2	3	0	0	2	0	2	0	3	0	1	40
12	小山 伽渉		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	宇都宮 早穂	／	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
14	大柴 かおる	X	2	0	1	1	8	0	0	3	0	0	1	1	2	0	32
15	守橋 花鈴		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	本多 哲朗									0	0	4	1				
出場:×は先発、／は出場			67	8	18	18	40	7	8	19	11	18	13	8	9	1	200
			確率	44.4%		45.0%		87.5%			計	29					

県立小林

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	池上 瑠理	X	16	0	0	6	10	4	5	3	4	3	1	1	1	0	27
5	廣瀬 今日子	X	16	2	7	4	6	2	2	1	2	6	3	2	4	0	35
6	岩満 沙織	／	5	1	1	1	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	9
7	松田 友里香	X	22	3	6	4	9	5	7	2	2	1	1	0	4	1	40
8	白谷 優香	／	4	0	0	2	2	0	0	0	2	2	2	1	0	0	7
9	今別府 愛璃	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10	藤井 優季	X	2	0	3	1	2	0	0	1	2	1	1	4	3	0	30
11	江藤 綾子	X	10	0	1	5	11	0	0	2	2	6	1	2	1	0	32
12	上妻 朱奈	／	6	0	1	2	2	2	2	0	1	1	2	0	0	2	17
13	岡田 麻里	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	永家 沙紀	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	住吉 南		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	西田 次良									0	1	2	3				
出場:×は先発、／は出場			81	6	19	25	46	13	16	9	17	22	14	10	14	3	200
			確率	31.6%		54.3%		81.3%			計	39					



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
東京学館新潟	0	3	8	13	13	13	15	19	24	26	33	37	40	44	48	48	52	54	60	62	67
県立小林	0	2	2	4	10	13	17	22	28	33	37	39	45	47	48	54	56	61	70	74	81

戦評

昨年のベスト16の東京学館新潟と、一回戦で接戦の末に金沢総合を破った小林との対戦。両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。第1Pの序盤、東京学館新潟は＃11宮原の連続3Pで11対4と抜け出すが、小林も＃5廣瀬の3Pと＃7松田のドライブイン、さらに終了間際に＃7松田が同点の3Pを決め13対13で終了。

第2P、小林は得意のトランジションと15対19で逆転に成功すると、なおも＃5廣瀬の3P、＃8白谷のインサイドプレイで流れをつかむ。一方、東京学館新潟も＃10花沢の3P、＃6赤川のドライブインなど要所で得点を挙げ、一進一退の試合展開となった第2Pは37対33で前半を折り返す。

第3Pの開始早々、東京学館新潟は＃10花沢のシュートと＃11宮原の速攻で同点となる。その後も、激しいディフェンスの東京学館新潟とアグレッシブなオフェンスを展開する小林の戦いは、互い一歩も引かぬまま48対54で最終Pへ。

第4P、点の取り合いが続く中、小林は＃7松田の3Pで54対68とリードを奪う。東京学館新潟は2回目のタイムアウト後、＃6赤川がリバウンドとゴール下のシュートを粘り、60対70と10点差に詰め寄ると、今度は小林がタイムアウト。＃4池上の強力なドライブインで、再び突き放すとそのまま67対81で勝利した。

主審	宍倉 陵太	副審	清水 高浩	戦評	大宮 史子 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット